

主な出来事

【内政】

●9月7月から8日、憲法裁判所は一部野党による総選挙の最終開票結果にかかる異議申し立てを棄却した。

●9月15日、大統領就任式典が開催された。

●9月16日、ロウレンソ大統領による第二次政権の閣僚が発表された。

【外交】

●9月15日、櫻田義孝議員総理特使(衆議院議員、日 AU 友好議連副会長)は、ロウレンソ大統領の大統領就任式典に出席し、同日、ロウレンソ大統領を表敬した。

●ロウレンソ大統領は、就任式典に参列者したポルトガル、ナミビア、赤道ギニア、ギニアビサウ首脳と会談を行った。

●9月26日、フェレイラ国連アンゴラ代表部大使は、第77回国連総会に出席し、ロウレンソ大統領の代理として一般討論演説を行った。

【経済】

●9月11日、TAAG は、米ボーイング社と未払債務問題解決にかかる合意に至ったと発表した。

●9月22日、ソナンゴル子会社ソナガス社、TotalEnergies 社、アンゴラ企業 Greentech 社は、ウイラ州ルバンゴ市のキレンバ太陽光発電所の建設・運営に係るコンセッション契約を締結した。

●9月28日、BNA と UNDP は、金融包摂分野での活動強化のため、覚書に署名した。

●9月28日、国家石油・ガス・バイオ燃料庁 (ANPG) とブラジルの国家石油・天然ガス・バイオ燃料庁 (ANP) は、石油・ガス分野の規制や監督に係る協力協定への署名を行った。

内政

1. 総選挙最終開票結果に関する異議申し立て

9月1日、最大野党 UNITA 及び野党 CASA-CE は、総選挙の最終開票結果に関し、憲法裁判所に異議申し立てを行った。コスタ・ジュニオル UNITA 党首は声明で、同党独自の集計上、MPLA の勝利を認めておらず、投票所1万3千箇所における集計議事録の精査を求めて憲法裁判所に申し立てた旨発表した([AP 9/2](#))。

2. 最終開票結果に関する異議申し立ての棄却

9月7月から8日、憲法裁判所は最大野党 UNITA 及び野党 CASA-CE による総選挙の最終開票結果にかかる

異議申し立てを棄却した。憲法裁判所は、UNITA は独自の集計結果と国家選挙管理委員会 (CNE) の開票結果を照合することで最終結果を見直すよう要求していたが、同党が証拠書類として提出した集計議事録概要に偽造・改ざん等が見受けられたとして、証拠書類と見做さなかったと述べた([JA 9/8 9/9](#))。

3. カビンダ州情勢

9月3日、カビンダ解放戦線カビンダ軍 (FLEC-FAC) は声明で、同日早朝、ブコ・ザウ地域ミクマ地区でアンゴラ国軍 (FAA) の巡回部隊と遭遇した際、国軍兵4名を殺害し、その遺体と銃 (AK47) 4丁を回収したと発表した。また、ブコ・ザウ地域モンゴ・ンブクコ地区で操業する金鉱企業に対し、事業を直ちに停止するよう要求した

[\(OBS 9/3\)](#)。

#### 4. 国家気候変動戦略の承認

大統領令により、文化・観光・環境省が提出した「国家気候変動戦略(2022年から2035年)」が承認された。本国家戦略は、「緩和・適応、能力開発、資金調達・研究、体系的観察・分析」という5つの柱から成り、低炭素経済への移行の促進を目的としている。[\(AP 9/8\)](#)。

#### 5. 大統領就任式典の開催

9月15日、大統領就任式典が開催された。ロウレンソ大統領は、就任演説において、国民の社会福祉を中心とした社会セクターへの注力に加え、経済活動の促進、国産品の生産・輸出促進、若者を中心とする雇用創出等を目指すとした。その他、ロシア・ウクライナ紛争に関し、ロシア政府が紛争終結のためイニシアティブをとり、和平交渉に向けより良い環境を構築することの重要性を強調した[\(AP 9/15\)](#)。

#### 6. ロウレンソ第二次政権の閣僚名簿発表

9月16日、ロウレンソ大統領による第二次政権の閣僚が発表された。28の閣僚ポストの内、19名が留任、7名が新任、2名が他ポストに異動となった。21日には、副大臣名簿が発表され、47の副大臣ポストの内、26名が留任、19名が新任、2名が異動となった[\(JA 9/16 9/16 9/22\)](#)。なお、閣僚名簿の発表に伴い、農業・水産省が農林省と水産省、文化・観光・環境省が文化・観光省と環境省に分割された[\(AP 9/17\)](#)。

#### 7. 総選挙結果に関する評価①: 与野党間の勢力均衡

アルバノ・ペドロ憲法学者は、今次総選挙でMPLAが過半数(3分の2)の議席を失ったことにより、アンゴラにおいて初めて与野党間の勢力均衡の状況になると述べた。また、野党によるイニシアティブで憲法改正の発議が行われる可能性や、野党議員の増加により国会、特に委員会における審議が激化する可能性を示唆した[\(DW 8/26\)](#)。

#### 8. 総選挙結果に関する評価②: 野党 CASA-CE 関連

政治アナリストのアゴスティーニョ・シカト氏は、第3党で

あった CASA-CE の敗北は、野党連合(祖国統一戦線(FPU))に与し、UNITA の党名簿に加わり立候補したアベル・シヴクヴク CESA-CE 元党首(当館注: 副大統領候補として、UNITA 党名簿第二位に置かれた)の 2019 年の同党離党が最たる要因であると指摘した [\(DW 8/29\)](#)。

#### 9. 国軍軍人、警察官、内務省行政官の給与増額

9月21日、アンゴラ国軍(FAA)軍人、警察官、内務省行政官の基本賃金の増額が閣議承認された。増加率は一律6%であるが、階級等により一部例外が存在し、研修生の場合には月額35,456 クワンザから月額40,312.33 クワンザに引き上げ、FAA 軍人の場合には月額51,095 クワンザから月額68,440 クワンザに引き上げとなった[\(JA 9/22\)](#)。

### 外交

#### 1. ブラジルによる麻疹、流行性耳下腺炎、風疹ワクチンの供与

9月1日、ブラジルから供与された150万回分のMMRワクチン(麻疹、流行性耳下腺炎、風疹)がルアンダに到着した。ドミンゴス・ロペス外務副大臣(国際協力・アンゴラ人コミュニティ担当)とフランコ・ムフィンダ保健副大臣(公衆衛生担当)がワクチンを受領した[\(AP 9/2\)](#)。

#### 2. マクロン仏大統領のアンゴラ訪問の可能性

9月13日、マクロン仏大統領は、ロウレンソ大統領再選に関する祝辞にて、2023年の初頭にアンゴラを訪問する意向を表明した。また、フランス・アンゴラ関係につき特に農業分野での協力を深化させたいと述べると共に、アンゴラによるコンゴ(民)東部や中央アフリカでの平和構築に向けた外交努力を歓迎した[\(JA 9/13\)](#)。

#### 3. 各国の大統領就任式典出席

9月15日、ロウレンソ大統領の大統領就任式典が開催され、コンゴ(民)、コンゴ(共)、ザンビア、ジンバブエ、ナミビア、ポルトガル、カーボベルデ、サントメ・プリンシペ、赤道ギニア、ギニアビサウ、中央アフリカ、タンザニ

ア、「西サハラ」から首脳級、ブルンジ、キューバ、ルワンダ、マダガスカル、ガボン、エスワティニ、アルジェリア、ケニア、アラブ首長国連邦、セルビア、モザンビーク、チャド、米国、中国、仏、カタール、ベネズエラ、セネガル、ニカラグア、ガーナから閣僚級が出席した([DW 9/15](#))。

#### 4. 櫻田義孝議員総理特使の大統領就任式典出席

9月15日、櫻田義孝議員総理特使(衆議院議員、日AU友好議連副会長)は、ロウレンソ大統領の大統領就任式典に出席した。また、同大統領を表敬した([AP 9/15](#))。

#### 5. 各国代表のロウレンソ大統領表敬

ロウレンソ大統領は、就任式典の参列者であるレベロ・デ・ソウザ・ポルトガル大統領、ガインコブ・ナミビア大統領、ンゲマ・ンバゾゴ赤道ギニア大統領、エンバロ・ギニアビサウ大統領との会談を行った他、オスカ・ラポンダ・ガボン首相、ブハリ・アルジェリア国会議長、アブダッラー・ア首連外務・国際協力大臣、ネタン米(DFC)総裁、リウ・ユーシー・中国アフリカ問題担当特使、ファキAUC委員長等による個別の表敬を受けた([大統領府公式Facebook](#))。

#### 6. アンゴラの国連総会出席

9月26日、フェレイラ国連アンゴラ代表部大使は、第77回国連総会に出席し、ロウレンソ大統領の代理として一般討論演説を行った(当館注:同大統領は健康上の理由から急遽欠席する運びとなった)。フェレイラ大使は、多国間主義と国際協力の重要性を擁護した他、キューバに対する禁輸措置及び中央アフリカに対する武器禁輸措置の解除の要請、国連安保理改革への提言などを行った([JA 9/27](#))。

#### 7. 中国企業によるアンゴラでのインフラ建設

(中国国際請負業者協会(CHINCA)と中国輸出信用保険公司(SINOSURE)が毎年発行している)「2022年一帯一路インフラ開発指数報告書」によれば、2021年、中国企業はアンゴラにて44案件、受注額合計約26億4千万ドル分のインフラ事業契約を締結したが、右は中国企業がポルトガル語圏諸国で契約したインフラ事業の約39%を占めた。また、アンゴラは、一帯一路インフ

ラ開発指数にて、前年から順位を11位引き上げ、第22位となった([VA 9/28](#))。

#### 8. アンゴラ・韓国ビジネスフォーラムの開催

9月28日、ルアンダで、アンゴラ・韓国の外交関係樹立30周年記念の一環で、アンゴラ・韓国ビジネスフォーラムが開催された。チェ・クワンジン当地韓国大使は、閉会の挨拶にて、韓国政府は複数の事業への補助金や融資保証を通じアンゴラの経済多角化に貢献しており、今後も精力的に貢献していく意思を表明した([JA 9/29](#))。

### 経済

#### 1. コンゴ(民)鉄道ルートの再開発

本年7月にロビト回廊のコンセッションを落札したポルトガル Mota-Engil 社、スイス Trafigra 社、ベルギー Vecturis 社等で構成されるコンソーシアムは、コンゴ(民)の鉱山地帯であるルアラバ州の鉄道開発を推進するため、コンゴ(民)鉄道公社と協議を行っている。これが実現すれば、アンゴラ・ベンゲラ州ロビト市とコンゴ(民)の銅・コバルトの主要鉱山を結ぶ約1,800キロメートルの鉄道回廊が再興することになる([JA 9/7](#))。

#### 2. アンゴラ航空(TAAG)債務関連

9月11日、TAAGは、米ボーイング社と未払債務問題解決にかかる合意に至ったと発表した。本合意は、ボーイング社の機体の追加購入に向けた条件を整備すると共に、両社間で締結した覚書の条件を更新するものである。なお、負債額や返済方法は明らかにされていない([JA 9/11](#))。

#### 3. ソナンゴル保有 Banco Caixa Geral Angola 株の売却

ソナンゴルは、同社が保有する Banco Caixa Geral Angola(BCGA)の500株(株式資本の25%相当)を693名の投資家に売却した。500株の内300株を既に株主であるアンゴラ人起業家2名(ジャイメ・フレイタス氏、アントニオ・モスキート氏)が取得し、残り200株を一般市民、従業員、銀行経営陣等の新規株主691名が取得し

た[\(EX 9/22\)](#)。

#### 4. ウイラ州太陽光発電所建設・運営に係る契約締結

9月22日、ソナンゴル子会社ソナガス社、TotalEnergies 社、アンゴラ企業 Greentech 社は、ウイラ州ルバンゴ市のキレンバ太陽光発電所の建設・運営に係るコンセッション契約を締結したと発表した。出資率はソナガス社 30%、TotalEnergies 社 51%、Greentech 社 19%であり、2023 年建設、2024 年稼働の見込み [\(JA 9/23\)](#)。

#### 5. フィッチのアンゴラ経済予測

フィッチ・レーティングスは、本年のアンゴラの実質経済成長率を 3.5%と予測した。これが実現すれば、2014 年以降最も高い成長率となる。他方、2023 年には石油価格の下落により、実質経済成長率は 1.8%に落ち込むと予測されている[\(ME 9/26\)](#)。

#### 6. 輸入額の増加

中銀(BNA)によれば、2022 年上半期、アンゴラの輸入額は前年同期比 52%増の 82 億ドルとなった。最も多くの割合を占めたのは燃料であり、輸入額は約 19 億ドル(全体の約 23%)に上った。その他、機械・機材等の輸入額は約 17.5 億ドル、食料品は約 13 億ドルであった[\(ME 9/26\)](#)。

#### 7. アフリセル社による eSIM の導入

携帯電話事業者アフリセル社は、eSIM の導入を発表した。これにより、紛失時や盗難に遭った際に、携帯電話の位置確認することが可能となる他、1つのデバイスで複数の通信事業者の利用が可能となる。アフリセル社は eSIM 導入に伴い、30GB と 50GB の 2 つの月額パッケージプランを用意した[\(VA 9/21\)](#)。

#### 8. 中銀(BNA)と UNDP の金融包摂分野での協力

9月28日、BNA と UNDP は、金融包摂分野での活動強化のため、覚書に署名した。UNDP は、デジタル決済に関する技術支援を行い、BNA は係るイベントの開催を担当する見込み。マサーノ BNA 総裁は、全ての国民の金融サービスへのアクセスを確保すると共に、国民に貯蓄管理の大切さを理解してもらうことが本協力の目的

の一つだと述べた[\(JA 9/29\)](#)。

#### 9. 石油・ガス分野でのブラジルとの強力

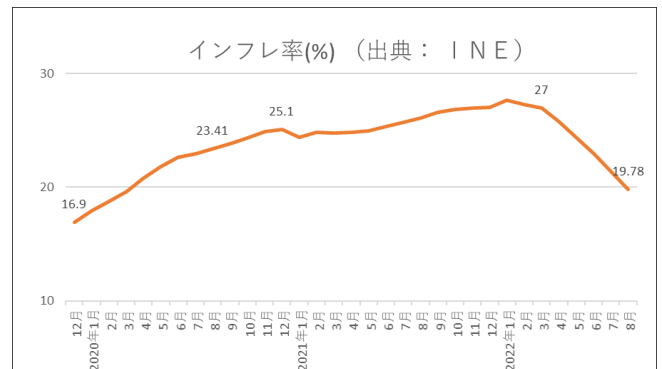
9月28日、ブラジル・リオデジャネイロで開催された「リオ・オイル&ガス会議」において、アンゴラの国家石油・ガス・バイオ燃料庁(ANPG)とブラジルの国家石油・天然ガス・バイオ燃料庁(ANP)は、石油・ガスの探査・開発・生産の規制や監督に係る協力協定への署名を行った。本協定は 5 年間有効であり、石油・ガス産業強化のための技術促進、石油産業の技術基準や優良事例に関するノウハウの移転などを通じ協力を確立することを目的としている[\(ME 9/29\)](#)。

### 【主要経済指標】

#### 1. 物価

国家統計院(INE)が発表した 8 月のインフレ率は、全国平均で前月比 0.76%、前年同月比 19.78%。

最も物価上昇に影響を与えたのは、食料品・非アルコール飲料(0.35%)、モノ・サービス(0.08%)、衣類・靴(0.06%)、保健(0.06%)、家具、家財、メンテナンス(0.05%)。



#### 2. 金利

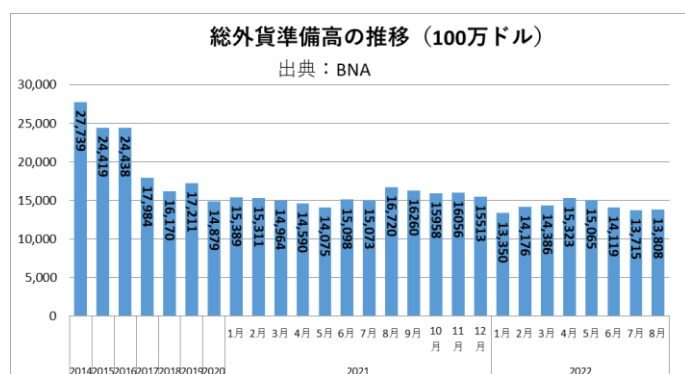
9月26日、金融政策委員会(CPM)が開催され、政策金利の20%から19.5%への引き下げ、及び限界貸出ファシリティ金利(オーバーナイト物)の23%から21%への引き下げが決定された。

#### 3. 為替市場

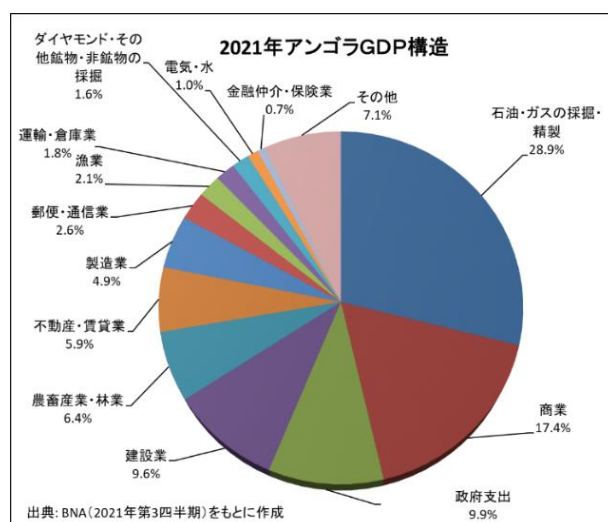
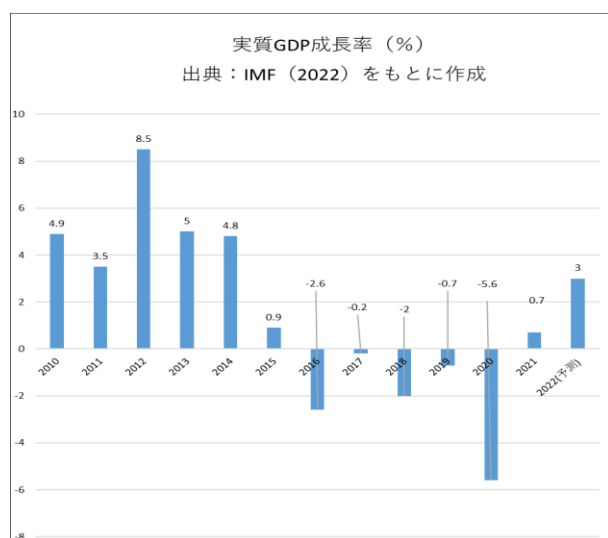
9月30日、為替相場は 1USD=433.5695 AOA で推

移。

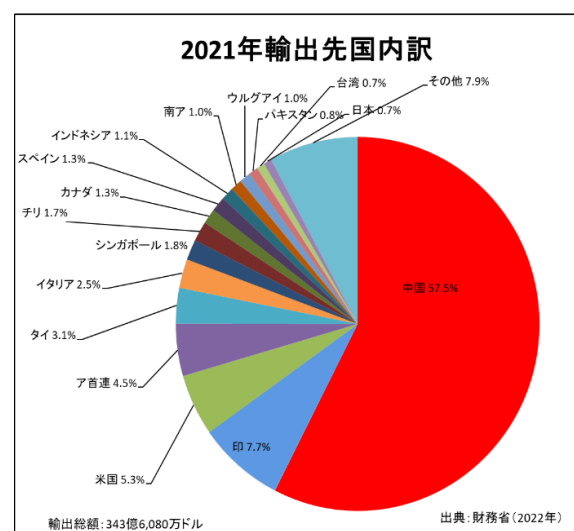
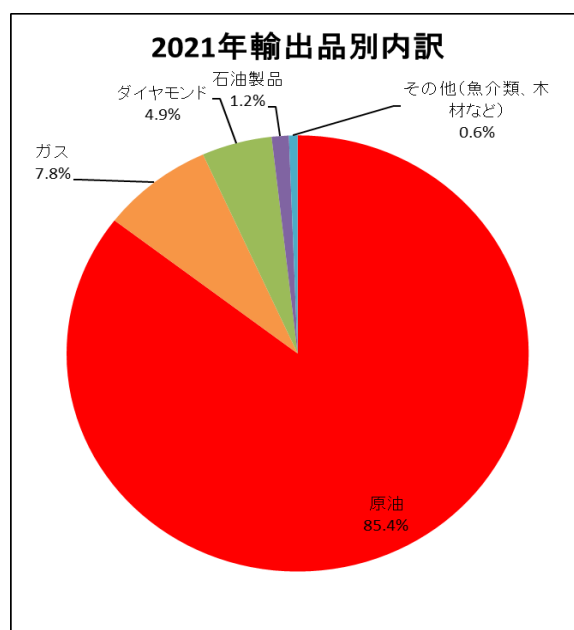
#### 4. BNA 発表の外貨準備高統計



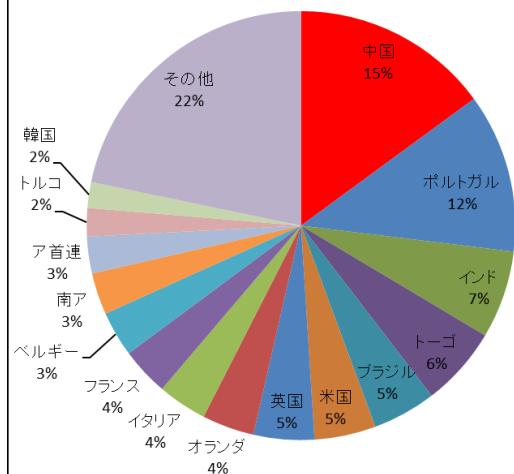
## 5. GDP及び成長率



## 6. 主要貿易統計



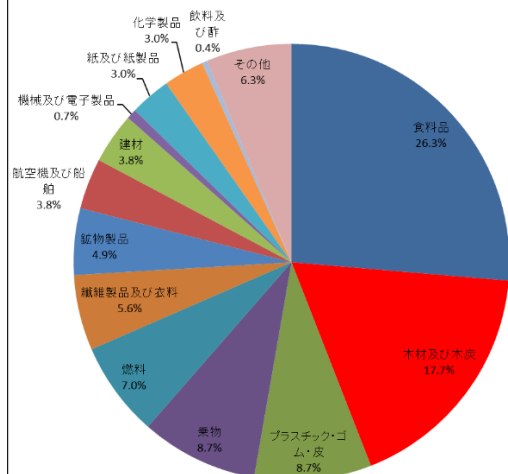
## 2021年輸入先国内訳



輸入総額: 114億7,880万ドル

出典: 財務省 (2022年)

## 2021年輸入品別内訳



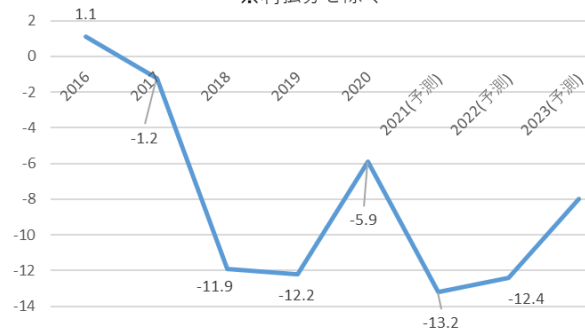
輸入総額: 81億7,680万ドル

出典: BNA (2021年第3四半期)

## 7. 財政主要統計

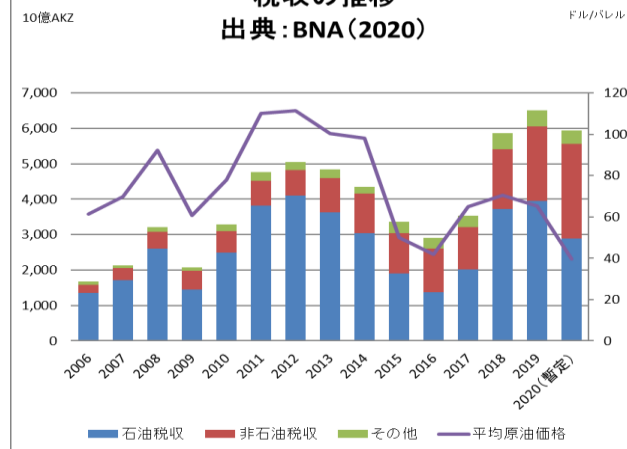
### 経常収支(対GDP比) 出典: IMF(2022)

※利払分を除く



### 税収の推移

出典: BNA (2020)



\*\*\*\*AA: All Africa、AC: アンゴラ華人報、AfN: Africa News、AN:Ango Notícias、AO: Angola Online、AO24:Angola 24 horas、AP: Angop、BB: Bloomberg、CK: Club-K、CRK: Correio Kianda、DN: Diario de Noticias、DV: Dinheiro Vivo、DW: Deutsche Welle、EG: E-Global、EIU: Economist Intelligence Unit、EN: Euro News、EX: Expansão、EXP: Expresso、FT: Financial Times、FM: Forum Macao、GOV: Government's Official Portal、JA: Jornal de Angola、JE: Jornal Economico、JN: Jornal de Negocios、LS: Lusa、ME: Mercado、MH:Macau Hub、MR: Mining Review、MW: Mining Weekly、NAM: Noticias ao Minuto、NJ: Novo Jornal、OBS: Observador、OP: O País、PA: Portal de Angola、PB: Publico、RE: Reuters、RFI: Radio France Internationale、RTP: Rádio e Televisão de Portugal、TPA: Televisão Pública de Angola、VA: Ver Angola、VE: Valor Económico、VG: Vanguarda、VI: Visão、VOA: Voice of America、WB: World Bank、WSJ: Wall Street Journal、XN: Xinhua Net